

**製品名: 14-3-3  $\theta$ / $\tau$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06286**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

**抗原情報**

遺伝子名	YWHAQ
別名	YWHAQ; 14-3-3 protein theta; 14-3-3 protein T-cell; 14-3-3 protein tau; Protein HS1
遺伝子 ID	10971.0
SwissProt ID	P27348
免疫原	抗血清はヒト 14-3-3 thet/tau 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 196-245

**背景**

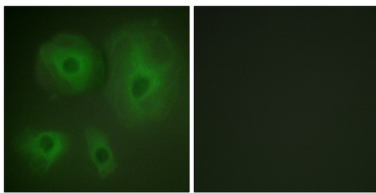
この遺伝子産物は、ホスホセリン含有タンパク質に結合してシグナル伝達を媒介する 14-3-3 タンパク質ファミリーに属します。この高度に保存されたタンパク質ファミリーは植物と哺乳類の両方に存在し、このタンパク質はマウスおよびラットの相同遺伝子と 99%

同一です。この遺伝子は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者において発現が亢進しています。5' UTRには6 bpのタンDEMリピート配列が含まれており、この配列は多型性を有していますが、リピート数と疾患の間に相関関係はありません。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能：広範囲の一般および特殊シグナル伝達経路の制御に参与するアダプタータンパク質。通常、ホスホセリンまたはホスホトレオニンモチーフを認識することで、多数のパートナーと結合します。結合は一般に、結合パートナーの活性の調節をもたらす。類似性：14-3-3ファミリーに属する。細胞内局在：ニューロン内で、軸索を介して神経終末に輸送される。サブユニット：ホモ二量体。PCTK1と相互作用する（類似性による）。SSH1と相互作用する。CDKN1B（「Thr-198」リン酸化型）と相互作用し、この相互作用によりCDKN1Bは細胞質へ移行する。組織特異性：脳、心臓、脾臓で豊富に発現し、腎臓と胎盤でも低レベルで発現する。孤発性筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の腰髄では対照群と比較して発現が亢進しており、主に下位運動ニューロンが障害されている患者で最も高い発現レベルを示す。

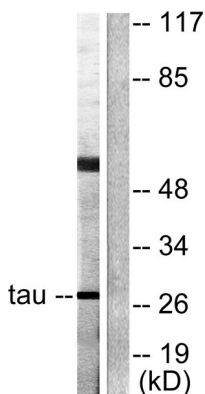
## 研究分野

Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;卵母細胞減数分裂;神経栄養因子;病原性大腸菌感染症;

## 画像データ



14-3-3 thet/tau 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



14-3-3 thet/tau 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 500 に希釈した 14-3-3  $\theta$ / $\tau$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析